

特殊詐欺で過去最高額の12億円被害

【愛媛】 80代女性が約12億円を8回に分けて送金（2025年12月～2026年2月）

【大阪】 70代女性が約3億円相当の暗号資産を送付、さらにネット口座を複数開設させられる

【接点】 愛媛の被害資金が、大阪で開設させられた口座に流入し、暗号資産化され詐欺グループへ

年代 80代

初期口実 保険証の不正利用

名乗り 薬局店員 → 警察官 → 検察官 など

誘導名目 資金洗浄の疑い、財産調査のため送金指示

被害 **現金 計約12億円（8回に分けて窓口振込）**

年代 70代

初期口実 保険証が金沢の病院で使用されている 等

名乗り 省庁職員 → 警察官 → 検察官 など

誘導名目 潔白証明、隠し口座確認・新規開設、暗号資産送付

被害 **約3億円相当の暗号資産送付 + ネット口座複数開設**

資金と被害の連鎖（接点）

愛媛の80代女性
12億円を送金

県内金融機関
から8回振込

大阪の70代女性が口座開設
指定のネット口座

犯人の指
示で変換

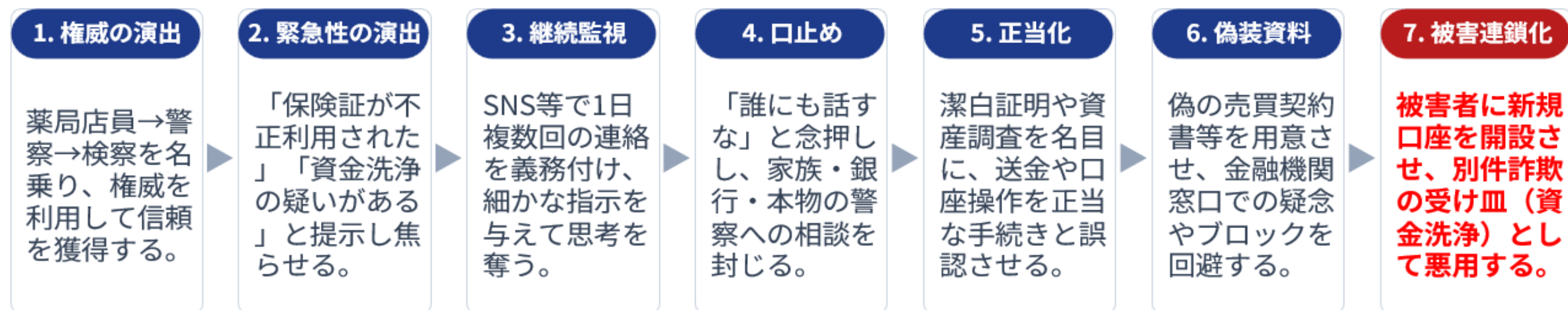
暗号資産

約100
回送金

詐欺グループ

最新の特種詐欺は“恐怖で資金を動かす構造”

全体像：権威付けによる信頼獲得から始まり、不安や緊急性をとおって行動を管理・孤立化させ、最終的に資金移転と痕跡の遮断（別件への悪用）に至る複合的な詐欺プロセスです。



留意点・詐欺を防ぐために

- 警察・検察が電話やSNSのみで資産情報を尋ねたり、口座開設を指示することはありません。
- 「絶対誰にも話さないください」という口止めは、詐欺の典型的なサインです。
- 高額な送金や暗号資産の送付を求められた場合は、直ちに家族・金融機関・警察へ相談してください。